

令和3年

交通白書

交通事故のない安全に安心して暮らせる二本松市をめざして



年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動キャンペーン参加者



二本松地区交通安全協会
二本松地区安全運転管理者協会
安全運転管理二本松地区事業主会
二本松警察署



はじめに

皆さま方には、日頃から、交通事故防止活動をはじめ、警察業務の各般にわたり深い御理解と御協力を賜っておりますことに、感謝申し上げます。

さて、令和3年中の県内の交通事故は、死者数が49人（前年比－8人）と前年よりも減少し、第11次福島県交通安全計画で死者数を50人以下とした目標を達成することができ、また発生件数、傷者数についても前年に比べ約1割減少しました。

二本松市の交通事故については、

- ・発生件数 51件（前年比－14件）
- ・死者数 2人（前年比＋1人）
- ・傷者数 57人（前年比－17人）
- ・物件事故 985件（前年比＋34件）

と、発生件数及び傷者数は減少しましたが、死者数については2人となり、物件事故についても増加に転じました。

令和4年についても、前年に引き続き、「交通事故のない安全に安心して暮らせる二本松市」を目指して、

- 高齢者の交通事故防止
- 薄暮時と夜間の交通事故防止
- 交差点における交通事故防止
- 横断歩行者の保護
- シートベルト・チャイルドシートの正しい着用の徹底

を重点に、新たな交通事故防止対策であります「交通安全 ふくしま 5つ星作戦」の取組みを通じ、皆さま方との連携を強化して、各種交通事故防止活動を推進して参りたいと思いますので、なお一層の御支援と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

令和4年3月 二本松警察署長 大河内 秀崇

1 交通事故発生状況

全国の交通事故(速報値)

- ★ 発生件数 305,425件
前年比（－3,575件、－1.2%）
- ★ 死者数 2,636人
前年比（－203人、－7.2%）
- ★ 傷者数 361,768人
前年比（－6,833人、－1.9%）

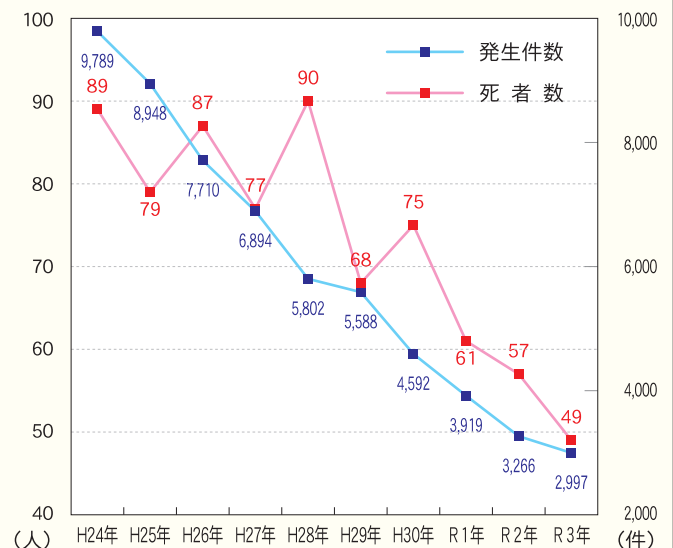
東北の交通事故(速報値)

- ★ 発生件数 15,791件
前年比（－762件、－4.6%）
- ★ 死者数 207人
前年比（－35人、－14.5%）
- ★ 傷者数 18,648人
前年比（－1,211人、－6.1%）

県内の交通事故

- ★ 発生件数 2,997件
前年比（－269件、－8.2%）
- ★ 死者数 49人
前年比（－8人、－14.0%）
- ★ 傷者数 3,446人
前年比（－411人、－10.7%）

県内の交通事故(過去10年間)



- ★ 昨年は、発生件数、死者数、傷者数の全てが減少した。
- ★ また、発生件数は昭和38年以来最少となり、死者数は統計を開始した昭和23年以来最少となった。
- ★ 全死者数に占める高齢者の割合は65.3%で、前年比9.2ポイント増加した。

● 地域別発生状況

	発生件数				死者数				傷者数				物件事故数			
	令和3年	令和2年	増減		令和3年	令和2年	増減		令和3年	令和2年	増減		令和3年	令和2年	増減	
旧二本松市	26	36	-10		0	1	-1		32	43	-11		568	572	-4	
旧安達町	21	20	1		1	0	1		22	22	±0		300	263	37	
旧岩代町	3	5	-2		1	0	1		2	5	-3		69	64	5	
旧東和町	1	4	-3		0	0	±0		1	4	-3		48	52	-4	
合計	51	65	-14		2	1	1		57	74	-17		985	951	34	

● 事故類型別

	類型	件数
1	追突	27
2	出会い頭	10
3	人対車両	5

● 違反別

	違反別	件数
1	前方不注意	16
2	動静不注意	12
3	信号無視等悪質違反	9
4	安全不確認	6

● 管轄別発生状況

	件数	増減
署所在地	19	-8
木ノ崎	4	1
杉田	2	-3
岳	1	±0
安達	21	1
東和	1	-3
小浜	3	-1
新殿	0	±0
旭	0	-1

● 発生多発路線

	発生場所	件数
1	国道4号	17
2	市道	14
3	県道須賀川・二本松線	5
4	国道459号	3
4	県道原町・二本松線	3

無事故無違反を心がけましょう



二本松地区交通3団体活動写真



交通安全祈願祭



春の運動における街頭指導



交通安全運動実施中ののぼり旗の贈呈



交通安全イエローリボン運動運用開始式



小学生に対する交通安全教材の贈呈

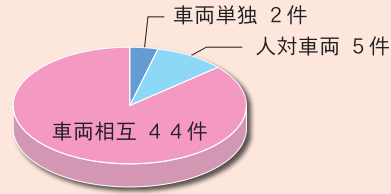


夜光反射材の直接配布活動

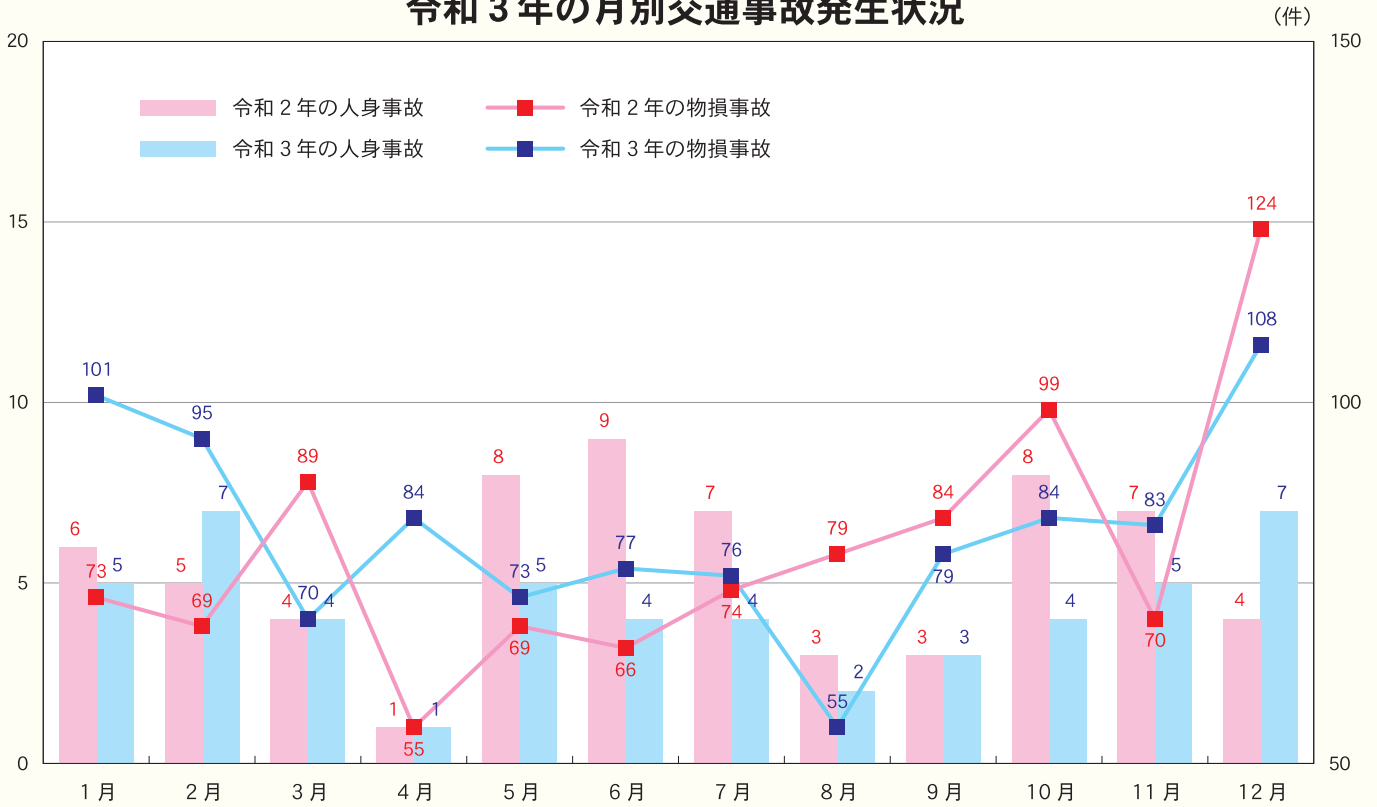
3 令和3年 二本松市の交通事故の特徴

令和3年の交通事故の特徴は

- 一番多いのは追突事故
- 市道と国道4号での事故が多い
- 木ノ崎、安達で事故増加
- 死者は2名で、39歳男性、82歳男性



令和3年の月別交通事故発生状況



参加体験型交通安全教室の開催



各季の安全運動と連動した街頭キャンペーン



通学時間帯における児童の安全対策



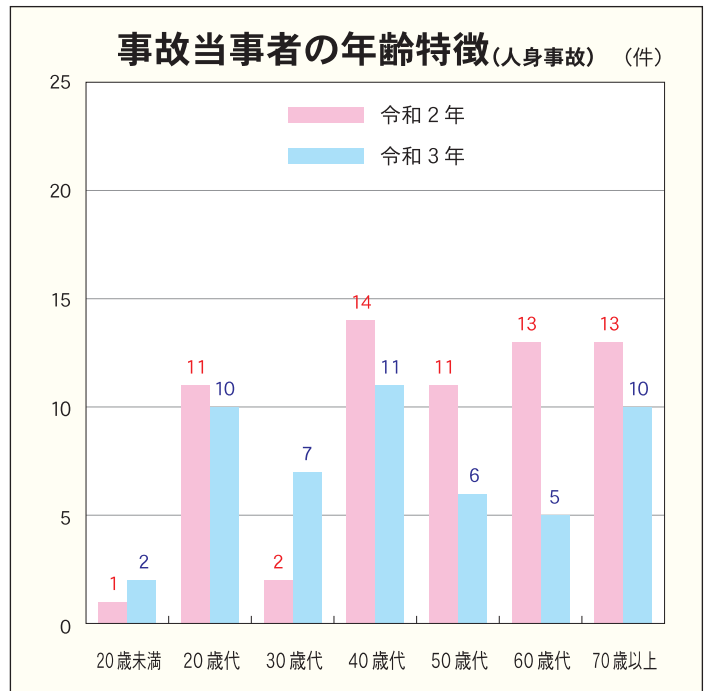
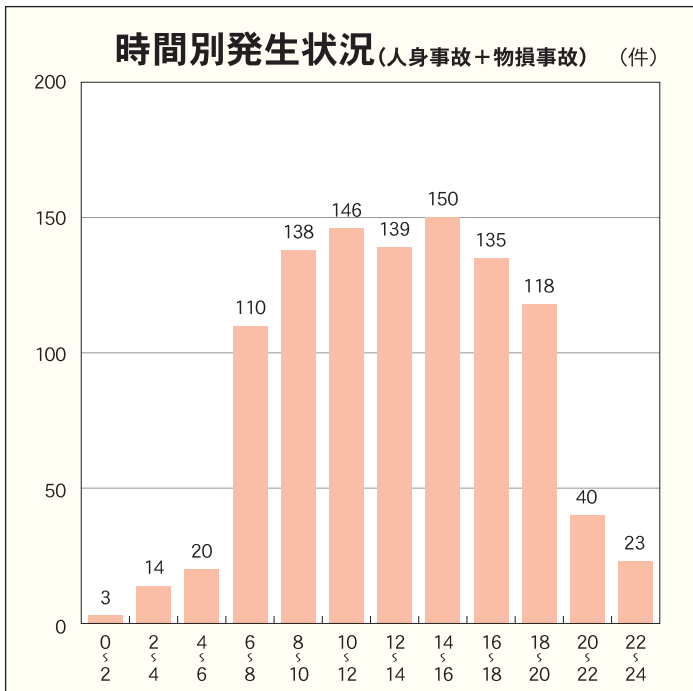
秋の運動出動式



中学生に対する交通安全教材の贈呈



幼稚園における交通安全教室



高齢ドライバーによる交通事故を防ぐには？

① 自身の運転について、家族や周囲の人の声を聴く

軽微な交通事故を起こした、交通違反で切符を切られたなどがあれば、家族や周囲の人に、自身の運転についてどう思うか聞いてみるのが大切です。

② 慌てない、焦らない、安全確認を十分にいき、慎重に運転する

自分の運転は大丈夫と思込まず、複雑な運転操作でも、一つ一つ順番に安全確認を行い、慎重な運転に努めましょう。

③ 身体機能の変化は定期的な検診から

自覚症状が無くても、年齢が上がれば視力や聴力に変化が現れます。視力検査はもとより、定期的に検診を受けることで健康を維持し、安全運転につなげましょう。

④ 先進自動車(サポカー)が運転を支援

ドライバーの運転をサポートし、安全を支援するシステムが搭載された自動車が登場してきました。ただし、安全装置に頼りすぎず、機能を正確に把握した上で、上手に利用しましょう。



針道分会による交通安全看板設置



通学路の安全対策を目的にのぼり旗を掲出



カプセルトイを活用した夜光反射材の普及活動



年末年始の交通事故防止県民総ぐるみ運動出動式



民生委員・児童委員と連携した反射材の直接貼付活動



野地交通安全協会会長褒賞受賞

交通安全ふくしま 5つ星作戦



シートベルト
チャイルドシート
着用の徹底



高齢者の交通事故防止



交差点における
交通事故防止



薄暮時と夜間の
交通事故防止



横断歩行者の保護

福島県警察・交通安全協会

令和4年
交通安全
年間
スローガン

- 福島県年間スローガン わたります 止まるやさしさ ありがとう
- 運転者・同乗者へ呼びかけるもの 手を上げる 子どもはあなたを 信じてる
- 歩行者・自転車利用者へ呼びかけるもの スマホじゃない 見るのは前でしょ 周りでしょ
- 子供たちに交通安全を呼びかけるもの とうげこう よそみ おしゃべり きけんがいっぱい